

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	鳥獣駆除対策事業	会計名称	一般会計		担当課	農業振興課	
		予算科目	6 款 2 項 2 目	事業番号	2905	所属長名	向井裕臣
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	池内伸至	
法令根拠等	伊予市有害鳥獣駆除事業費補助金交付要綱等				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業振興のための有害鳥獣駆除						
事業の対象	伊予地区猟友会			事業の目的	伊予地区猟友会が実施する有害鳥獣駆除を以って有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るとともに、狩猟免許取得に係る経費を補助することで駆除協力者の増加を図る。		
事業の内容 (整備内容)	イノシシ・カラス等有害鳥獣駆除事業及び狩猟免許取得費等補助事業			昨年度の課題に対する具体的な改善策	市街地へのイノシシの出現など、近年被害が拡大傾向にあるが、災害による山間地域への立入困難ヶ所の増加など駆除実施への阻害要因が多発しており、より効果的な事業推進に努める必要がある。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	11,122	12,870	4,297	0	0	17,167	イノシシ	頭	892	1130		1519
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金	2,954	2,800	60	0	0	2,855						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	カラス	羽	102	105		58
一般財源	8,168	10,070	4,237	0	0	14,312						
職員の人工(にんく)数	0.30	0.30				0.30	ハクビシン	頭	56	60		72
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費+人件費	13,527	15,265				19,562						
主な実施主体	伊予地区猟友会		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金		タヌキ	頭	86	80		118
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					13,000	12,000	12,000	12,000	12,000	61,000		
成果指標	指標	当該年度の捕獲頭数/前年度の捕獲頭数×100			単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標 毎 年度	
					%		目標	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	
	指標設定の考え方	年々増加する農作物被害額の増加に鑑み、前年度捕獲実績に対する当該年度捕獲実績を測定することで事業効果を図る。					実績	93.1	128.5			
	指標で表せない効果	県鳥獣が防止対策推進フローにおける「攻めの対策」の礎となる事業であり、被害の軽減に直結することから大きな効果が認められるものである。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		通報は年々増加傾向にあるため更なる効率的な駆除活動を推進すると共に、有事の際は迅速な対応を図る。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	猟友会、総合対策協議会及び関係者と連携を図った事業推進が肝要であり、総合対策事業と合わせた効果的駆除の展開が図られ、昨年度を大きく上回る駆除実績が得られた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A			前年度の駆除次期の台風到来によりブランクが生じていたことから、未だ多数の鳥獣が生息していると考えられるため、平準的な駆除を引き続き実施する必要がある。	
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多岐にわたる。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
	効率的	市民(受益者)負担の適正	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A				
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3				14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4				14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、県「鳥獣害防止対策推進フロー」の攻めの対策を担い、有害鳥獣対策に直結する効果の高い施策と認められるため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多岐にわたる。	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
効率的	市民(受益者)負担の適正	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	所屬長の課題認識	主な捕獲対象であるイノシシについて、本年度は本事業、平成31年度は緊急捕獲活動支援事業が減額となることから、猟友会員の意欲減退とまらない様、引き続き市鳥獣害防止総合対策協議会や農業振興センター担当者等と密な連携を図り、猟友会員活動の維持・増進に努める必要がある。			
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		